



たてわり班活動

昨日30日(水)は、たてわり班活動が行われました。2学期前半の活動について、どんなことをするのかを子供たちで話し合っていました。6年生が司会をしながら、下級生の意見を集約し、全員が理解できるように説明を加えながら話し合いを進めていきます。



異年齢集団ですので、共通の目標を達成するためには、コミュニケーションを円滑に行い、意見を共有し合う必要があります。このような経験によって、子供たちは、帯西グリーンの「ともに生きる心」を育みながら、社会性も養っていきます。さらに、異なる年齢や背景を持つ子供たちが同じ一つのグループを構成していますので、互いの違いを尊重しています。昨日は、6年生の子供が、ご機嫌斜めだった1年生の席の横に座り、優しくなだめながら、話し合いに参加していました。子供たちはそういう姿にふれながら、互いに理解を深め、社会を築くための価値観を身に付けることができると実感しました。2学期も充実したたてわり班活動によって、子供たちの将来にわたっての社会性の基盤を築いてほしいと思いました。

給食の楽しみ

2学期初めての給食は、「カレーライス」でした。子供たちに聞くと「カレーライスはとっても美味しかったです。」「カレーは大好きなので、楽しみにしていました。」などと答えてくれました。子供たちは、給食の献立表に目を通して、朝から「今日の給食〇〇だよ。」と私に教えてくれる子供もいます。本日2学期2回目の給食の献立は、「ハンバーグきのこソース」と「具だくさん味噌汁」でした。献立表にも書いてある通り、給食の味噌汁は「いりこ」で出汁をとっています。それによって旨味が増し、美味しくいただくことができます。



2学期スタートの献立について栄養教諭のニノ村先生に尋ねると、「2学期のスタートということもあり、子供たちに人気があって、しかも食べやすいメニューで作って、子供たちが元気になってほしいという願いを込めて作りました。」ということです。子供たちの給食の時間のこぼれるような笑みから、給食のありがたさを実感しました。

塩は「からい」か「しょっぱい」か

味の基本5要素は、甘味、塩味、酸味、苦み、旨味です。この塩味ですが、概ね東日本は「しょっぱい」、西日本は「からい」と使うそうです。しかし「からい」という表現は紛らわしく、近畿地方などで塩の味は「しおからい」と言うようになり、全国放送でも「しおからい」と言うようになったそうです。実は「しょっぱい」は、約1000年前の平安時代に「しわはゆし」と言っていました。「しわ」とは、唇や舌のことで、「はゆし」は「むずがゆい」という意味で、塩を舐めたときの感じを言った言葉です。「しわはゆし→しおはゆし→しょっぱい」と転じていったのです。歴史の長さを感じる言葉です。